

乳癌の乳房温存手術における乳腺断端の術中迅速診断の意義に関する研究

研究協力をお願い

当科では「乳癌の乳房温存手術における乳腺断端の術中迅速診断の意義に関する研究」という研究を日本医科大学中央倫理委員会の承認および研究機関の長（学長：弦間昭彦）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、この研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 5 月 31 日までに日本医科大学武蔵小杉病院乳腺外科で乳房温存手術を受けられた患者さん。

2. 研究の目的

この研究の目的は、乳房温存手術時の術中迅速診断の有無について評価することにより、術中迅速診断の必要性を明らかにすることです。

3. 研究の方法

この研究は日本医科大学武蔵小杉病院で実施する研究で、研究責任者および研究事務局は日本医科大学武蔵小杉病院乳腺外科 保科淑子です。

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 5 月 31 日までに日本医科大学武蔵小杉病院乳腺外科にて、乳房温存術を受けられた患者さんの手術記録、病理報告書などを解析し、切除断端と腫瘍の位置関係や追加手術についての検討を行います。

研究実施期間は実施許可日から 2026 年 3 月 31 日までです。

この研究は、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、既往歴・合併症、妊娠の有無、発症日、前治療薬（乳癌に関する治療薬）、身長・体重、針生検の病理報告書、手術記録、手術の病理報告書、術後治療経過など

利用を開始する予定日：実施許可日

試料・情報の取得の方法：研究目的でない通常診療の過程で取得

この研究に関する情報は、容易に個人を特定できないように記号化した番号により管理され、情報をインターネットに接続されていないパスワードのかかったパーソナルコンピュータにそれぞれ保管し、あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

作成日 : 2025 年 5 月 28 日

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報速やかに廃棄し、この研究に用いることはありません。また、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

この研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学武蔵小杉病院 乳腺外科 保科淑子

〒211-8533 川崎市中原区小杉町 1-383

電話番号 : 044-733-5181 (代表) 内線 : 3135

メールアドレス : s8083@nms.ac.jp